

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 市民と共に考える課 シート No.： 2 作成日： 2026.9/16

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	I 市民参画の推進	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 参画と協働の仕組みをつくり、活動の輪を広げる	少子高齢化に伴う人口減少・地域の連帯感の希薄化等により、自治会を始めとした市民活動団体等の高齢化や担い手不足が進んでおり、活動の継続が困難になりつつある課題が生じてきています。そのため、地域住民が主体となって5年後、10年後の地域のありたい姿を話し合いながら、地域の課題解決に向けて取り組む広域的な地域コミュニティを構築し、地域の活性化を図ります。	15地区（公民館・文化センター単位）において、地域コミュニティ協議会を設立し、様々な世代の方々が地域づくりのため積極的に参画し、将来にわたり持続可能な安全・安心に暮らせる地域を目指します。
	施策	1 市民協働・地域コミュニティ		
	施策内容	地域コミュニティの活性化		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市地域コミュニティ基本指針		
事務事業名	地域運営組織設立推進事業			

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R7予算額	R7決算額
活動名・事業名 （対象年）	R7活動・事業内容	指標（単位）	R7目標値	R8目標値		
			R7実績値	R9目標値		
自治区長・班長謝礼の支給 （R7・8・9）	自治区長、班長に、市から依頼している業務に対して謝礼を支給します。	支給人数（人）	1,631	1,631	35,412 千円	35,330 千円
			1,596	1,631		
自治区助成金の支給 （R7・8・9）	自治区の活動を支援するため、自治区助成金を支給します。	自治区数（自治区）	217	217	31,702 千円	31,702 千円
			217	217		
集会施設の整備に対する補助 （R7・8・9）	地域の活動拠点である集会施設の整備事業について、集会施設整備事業補助金を交付します。	申請団体数（団体）	5	5	4,093 千円	4,093 千円
			9	5		
集会施設敷地賃借料の補助 （R7・8・9）	地域の活動拠点である集会施設の敷地賃借料について、集会施設敷地賃借料補助金を交付します。	申請団体数（団体）	27	27	1,026 千円	1,026 千円
			27	27		
デジタル教室の実施 （R7・8・9）	自治会や地域コミュニティ協議会における情報伝達のデジタル化を推進するため、デジタル教室を実施します。	参加者数（人）	24	24	－ 千円	－ 千円
			27	24		
地域運営組織推進業務委託 （R7・8・9）	地域コミュニティ推進アドバイザーとして地域運営組織推進業務を委託します。	地区数（地区）	15	－	300 千円	300 千円
			1	－		
地域コミュニティ協議会準備委員会の設立 （R7・8・9）	地域コミュニティ協議会設立のための準備委員会を設立します。	地区数（地区）	5	9	900 千円	832 千円
			6	－		
地域コミュニティ協議会の設立 （R7・8・9）	準備委員会で協議し、地域コミュニティ協議会を設立します。	地区数（地区）	3	4	2,520 千円	859 千円
			1	8		
シンポジウムの開催 （R7）	モデル地区の事例発表や各種団体によるパネルディスカッションを行います。	参加者数（人）	150	－	1,505 千円	1,427 千円
			100	－		
コミュニティ助成事業の活用推進 （R7・8・9）	（一財）自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業の活用を推進します。	申請団体数（団体）	2	2	5,000 千円	2,500 千円
			1	2		

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R7実績値
地域組織の運営数	15 組織 （R9）	1 組織

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
令和7年6月8日、豊田地域で市内初の地域来コミュニティ協議会が設立されました。令和7年度中には、大生、菅生・大塚戸、三妻、五箇、菅原、坂手地域において準備委員会が設立されました。また、準備委員会に移行を予定している複数の地域で検討会が活発に行われています。一方で、検討会も実施できていない地域もあります。持続可能なまちづくりを進めるためには、自治区長に過度な負担をかけることなく、地域の今後を担う若手を中心に、これまでの地域を担ってきた方々をうまく融合させた話し合いの場づくりが必要です。	☐ コスト	☒ 活動	☒ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	先進事例を横展開し、各地域の特徴に合わせた話し合いの進め方を模索する必要があります。また、誰もが話し合いに参加しやすい雰囲気づくりを心掛けることが重要です。令和8年度には、全地域で検討会を実施できるように丁寧な説明を繰り返し、検討会を実施している地域では準備委員会に移行するように中心となる役員を発掘していきます。準備委員会を実施している地域では、準備委員会設立から1年を目途に、地域コミュニティ協議会設立ができるよう、支援してまいります。			